

# 労働力調査（詳細集計）

## 結果の概要（平成22年1～3月期平均）

### 【雇業者（役員を除く）】

- ・雇業者（役員を除く）（5071万人）のうち、  
正規の職員・従業員は3363万人と、前年同期に比べ23万人の減少。  
非正規の職員・従業員は1708万人と、9万人の増加。  
非正規の職員・従業員のうち、パート・アルバイトは1150万人と、18万人の増加

### 【完全失業者】

- ・完全失業者（332万人）のうち、失業期間が「3か月以上」の者は232万人と、  
前年同期に比べ49万人の増加。このうち「1年以上」は114万人と、23万人の増加

## I 雇業者（役員を除く）

### 1 雇用形態

- ・正規の職員・従業員は3363万人と、前年同期に比べ23万人の減少。4期連続の減少。  
非正規の職員・従業員は1708万人と、9万人の増加。5期ぶりの増加
- ・雇業者（役員を除く）に占める非正規の職員・従業員の割合は33.7%と、前年同期に比べ0.3ポイントの上昇。5期ぶりの上昇

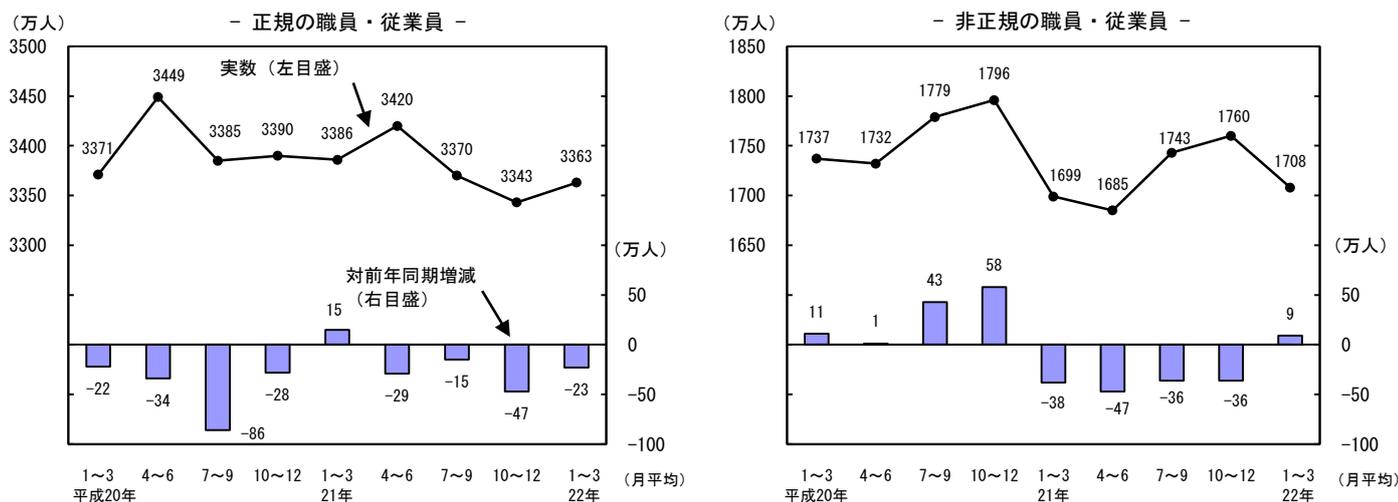
表1 雇用形態別にみた雇業者（役員を除く）の推移

		平成20年				21年				22年
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
実数 (万人)	役員を除く雇業者	5108	5181	5164	5185	5086	5105	5112	5107	5071
	正規の職員・従業員	3371	3449	3385	3390	3386	3420	3370	3343	3363
	非正規の職員・従業員 <sup>注1</sup>	1737	1732	1779	1796	1699	1685	1743	1760	1708
対前年同期増減 (万人)	正規の職員・従業員	-22	-34	-86	-28	15	-29	-15	-47	-23
	非正規の職員・従業員	11	1	43	58	-38	-47	-36	-36	9
割合 (%) <sup>注2</sup>	非正規の職員・従業員	34.0	33.4	34.5	34.6	33.4	33.0	34.1	34.5	33.7
対前年同期増減 (ポイント)	非正規の職員・従業員	0.3	0.2	1.2	0.9	-0.6	-0.4	-0.4	-0.1	0.3

注1) 非正規の職員・従業員は、「パート・アルバイト」、「労働者派遣事業所の派遣社員」、「契約社員・嘱託」及び「その他」の合計

注2) 「正規の職員・従業員」と「非正規の職員・従業員」の合計に占める割合

図1 雇用形態別にみた雇業者（役員を除く）の推移



## 2 非正規の職員・従業員の内訳<sup>注</sup>

- ・非正規の職員・従業員（1708万人）のうち、パート・アルバイトは1150万人と、前年同期に比べ18万人の増加。3期連続の増加。労働者派遣事業所の派遣社員は98万人と、18万人の減少。5期連続の減少。契約社員・嘱託は324万人と、6万人の増加。2期ぶりの増加

注) 非正規の職員・従業員の内訳は、勤め先での呼称によるものである。

図2 非正規の職員・従業員の内訳の推移

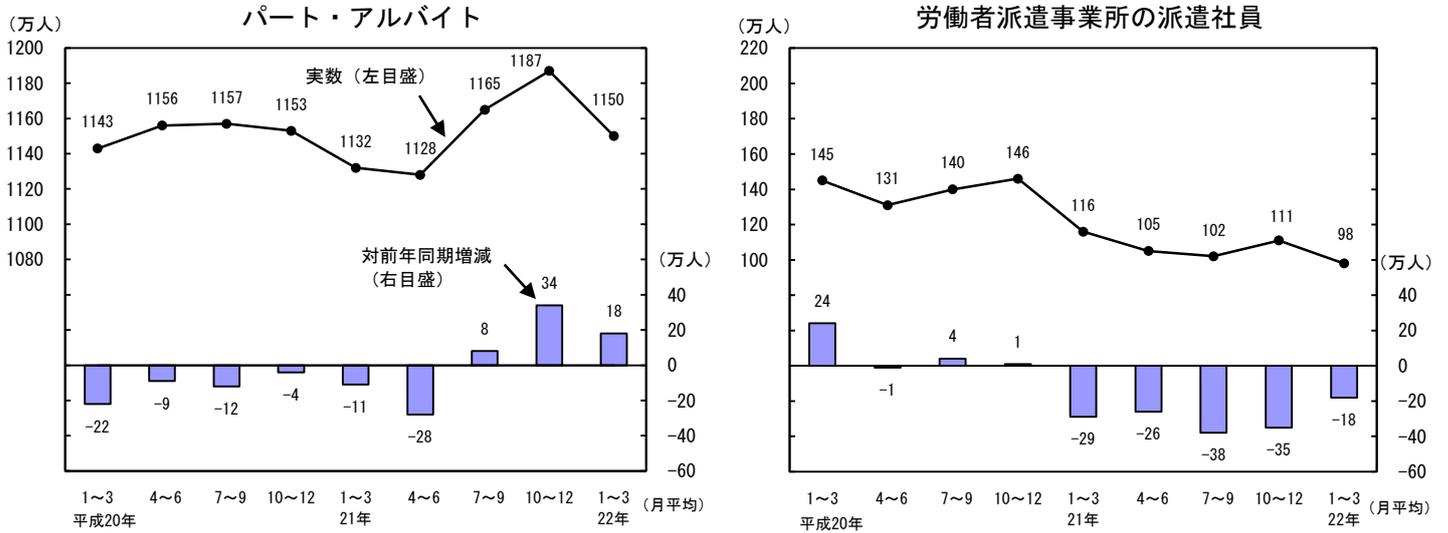
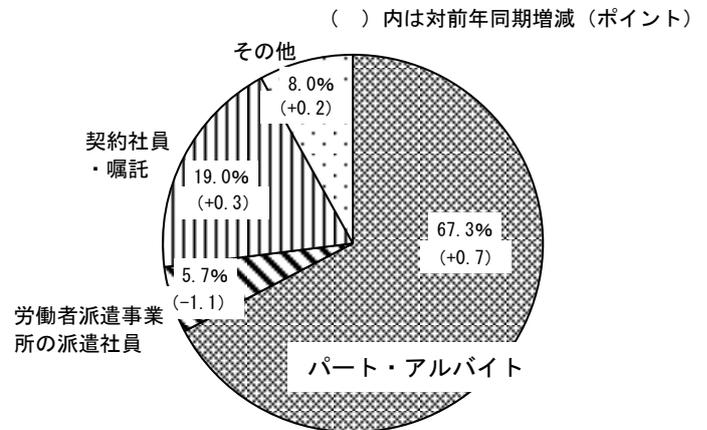
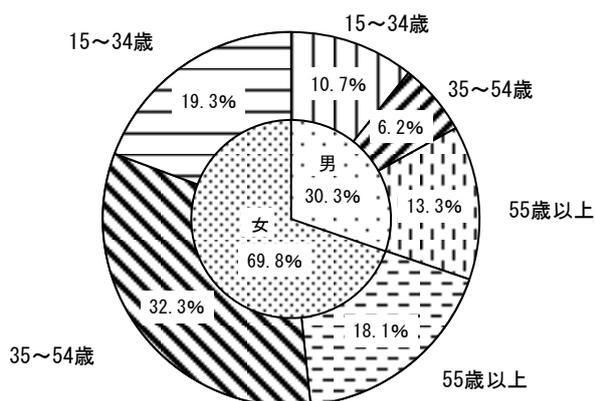


図3 非正規の職員・従業員の内訳の割合 (平成22年1~3月期平均)



《参考図表》 男女、年齢階級別にみた非正規の職員・従業員の内訳 (平成22年1~3月期平均)



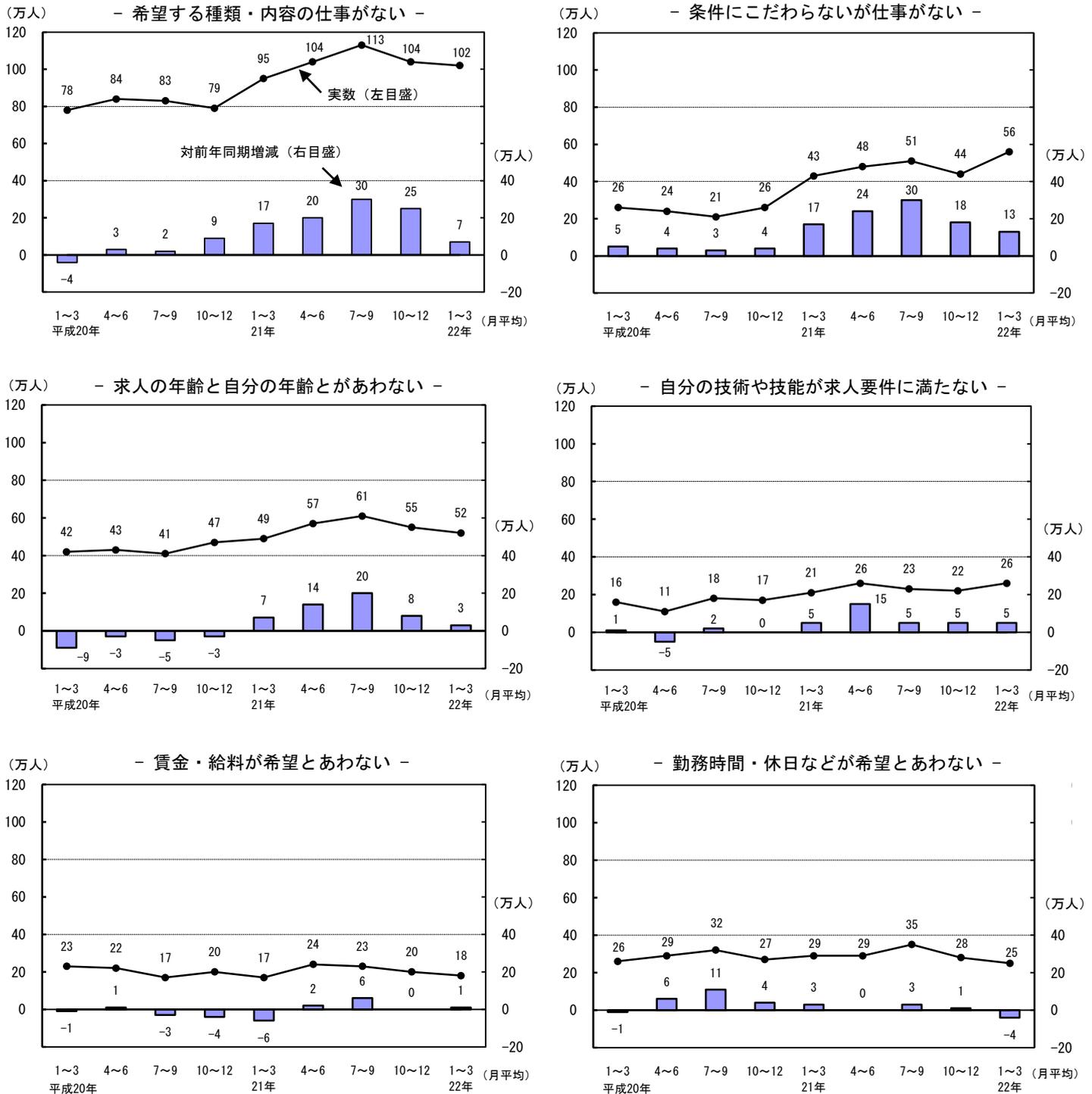
<実数>	(万人)		
	男女計	男	女
総数	1708	518	1192
15~34歳	515	182	330
35~54歳	659	106	552
55歳以上	535	227	310
<対前年同期増減>	男女計	男	女
総数	9	6	5
15~34歳	-21	-12	-13
35~54歳	21	16	8
55歳以上	11	-1	11

## Ⅱ 完全失業者

### 1 仕事につけない理由

- 完全失業者（332万人）のうち、  
「条件にこだわらないが仕事がない」は56万人と、前年同期に比べ13万人の増加。  
「希望する種類・内容の仕事がない」は102万人と、7万人の増加

図4 仕事につけない理由別にみた完全失業者の推移



## 2 失業期間

- 完全失業者（332万人）のうち、  
「3か月未満」が89万人と、前年同期に比べ27万人の減少。  
「3か月以上」が232万人と、49万人の増加。このうち「1年以上」は114万人と、23万人の増加

図5 失業期間別にみた完全失業者の推移

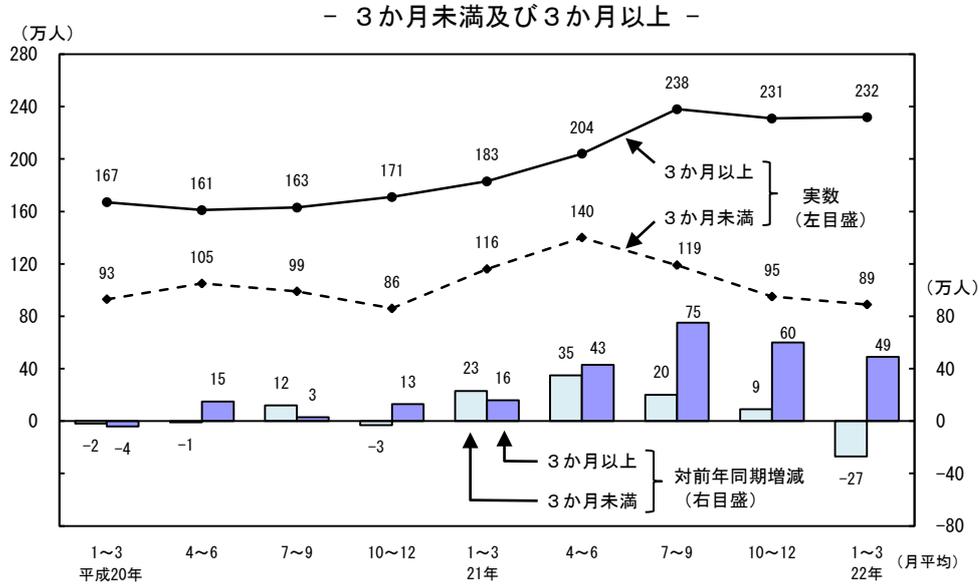
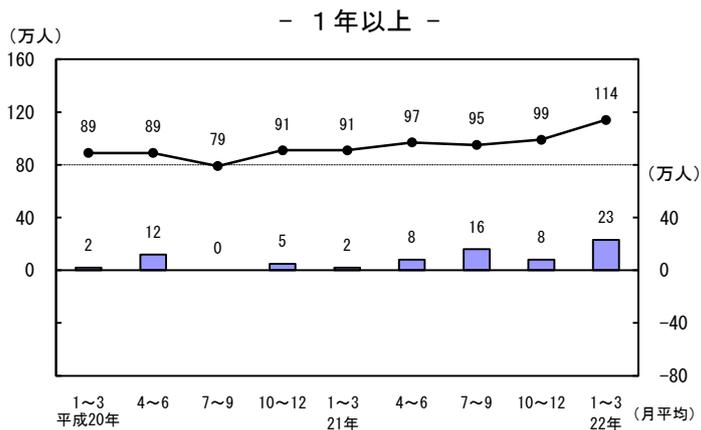
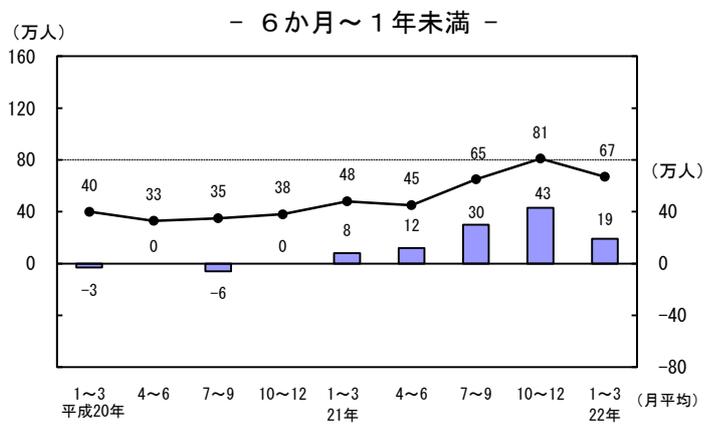
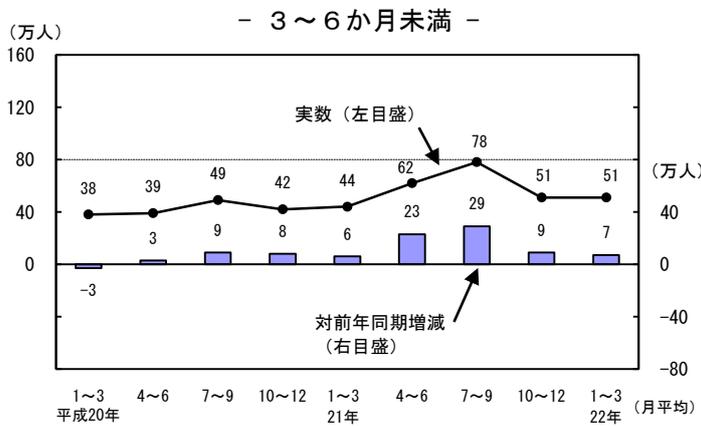


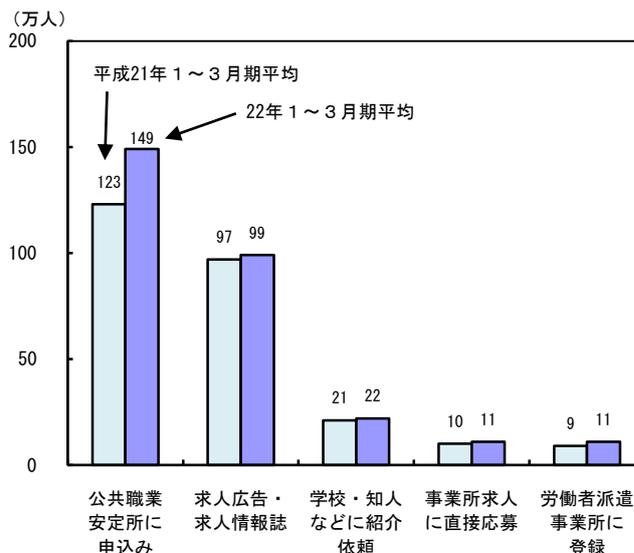
図6 失業期間が「3か月以上」の内訳別にみた完全失業者の推移



### 3 主な求職方法

- 完全失業者（332万人）のうち、「公共職業安定所に申込み」が149万人と最も多く、前年同期に比べ26万人の増加。次いで「求人広告・求人情報誌」が99万人と2万人の増加

図7 主な求職方法別にみた完全失業者



### 4 前職の雇用形態<sup>注</sup>

- 「正規の職員・従業員」だった者は68万人と、前年同期に比べ6万人の増加。
- 「非正規の職員・従業員」だった者は59万人と、7万人の減少

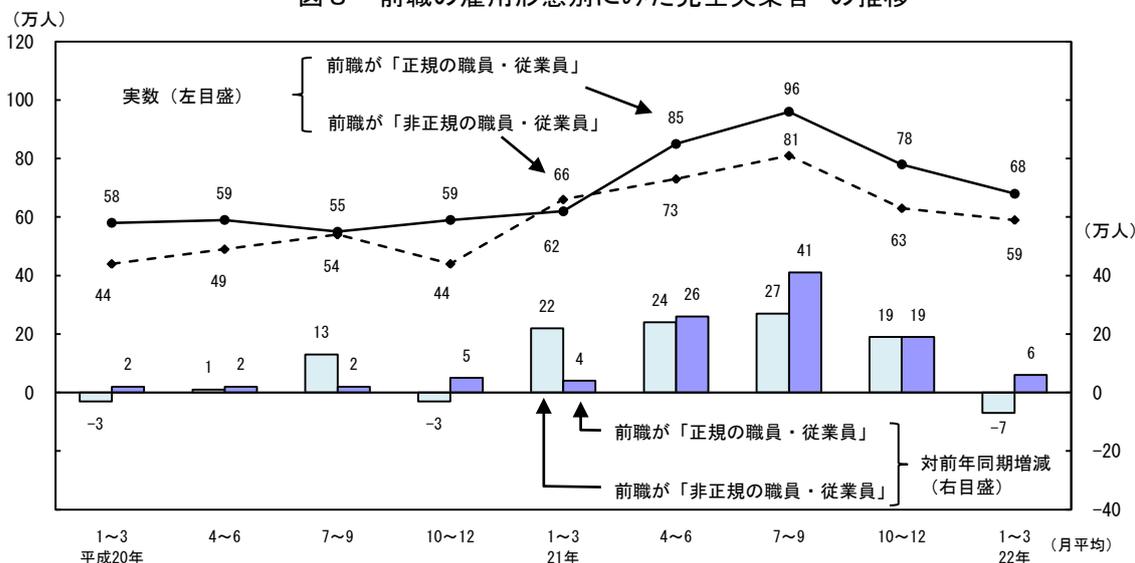
注) 完全失業者のうち過去1年間に離職した者の前職の雇用形態。詳細は表2参照

表2 前職の雇用形態別にみた完全失業者の推移

(万人)

	実数					対前年同期増減					
	平成21年				22年	平成21年				22年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
完全失業者	304	347	361	331	332	41	77	95	71	28	
うち 前職あり	284	322	342	310	306	40	74	95	65	22	
うち 仕事を辞めたため求職	217	248	269	239	247	34	55	82	47	30	
うち 過去1年間に離職	130	164	182	145	131	24	52	69	38	1	
うち 役員を除く雇用者	127	157	177	141	126	25	49	68	38	-1	
前職の雇用形態	正規の職員・従業員	62	85	96	78	68	4	26	41	19	6
	非正規の職員・従業員	66	73	81	63	59	22	24	27	19	-7
	パート・アルバイト	40	41	47	39	35	8	8	9	12	-5
	労働者派遣事業所の派遣社員	23	26	29	19	16	15	15	16	5	-7
	その他	3	6	5	5	8	-1	1	2	2	5

図8 前職の雇用形態別にみた完全失業者<sup>注</sup>の推移



注) 過去1年間に離職した者

### Ⅲ 非労働力人口

#### 1 就業希望の有無

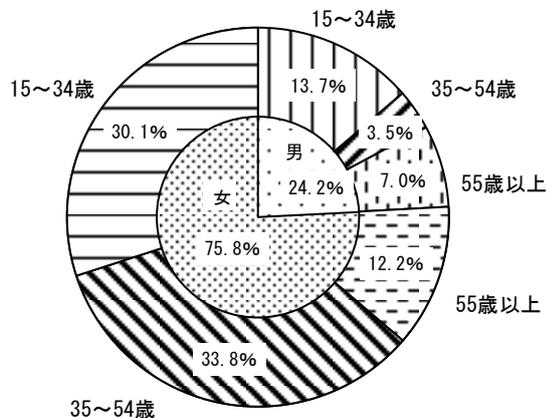
- ・就業希望者（就業は希望しているものの、求職活動をしていない者）は459万人と、前年同期に比べ10万人の減少
- ・就業内定者は101万人と、9万人の減少
- ・就業非希望者（就業を希望していない者）は3935万人と、52万人の増加

表3 就業希望の有無，非求職理由別にみた非労働力人口

	実数			対前年同期増減		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成22年1～3月期平均	(万人)					
非労働力人口	4497	1520	2977	33	27	6
就業希望者	459	111	348	-10	-12	2
適当な仕事がありそうにない（以下5項目の合計）	168	40	128	7	-7	14
近くに仕事がありそうにない	37	8	29	7	1	5
自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない	21	8	13	0	-1	1
勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない	58	7	51	6	-3	10
今の景気や季節では仕事がありそうにない	24	8	17	-1	0	0
その他適当な仕事がありそうにない	27	9	18	-7	-4	-3
家事・育児のため仕事が続けられそうにない	111	1	110	-15	0	-15
健康上の理由	61	22	39	0	-4	4
その他	105	43	63	0	-1	2
就業内定者	101	51	50	-9	-5	-4
就業非希望者	3935	1358	2578	52	44	8

《参考図表》 男女，年齢階級別にみた非労働力人口の内訳（平成22年1～3月期平均）

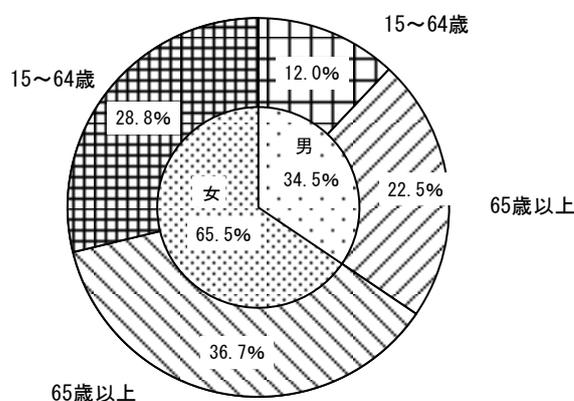
－ 就業希望者 －



〈実数〉	(万人)		
	男女計	男	女
総数	459	111	348
15～34歳	200	63	138
35～54歳	170	16	155
55歳以上	88	32	56

〈対前年同期増減〉			
	男女計	男	女
総数	-10	-12	2
15～34歳	-17	-10	-6
35～54歳	7	0	8
55歳以上	-1	-2	1

－ 就業非希望者 －



〈実数〉	(万人)		
	男女計	男	女
総数	3935	1358	2578
15～64歳	1608	473	1135
65歳以上	2327	884	1443

〈対前年同期増減〉			
	男女計	男	女
総数	52	44	8
15～64歳	-5	14	-18
65歳以上	57	29	28

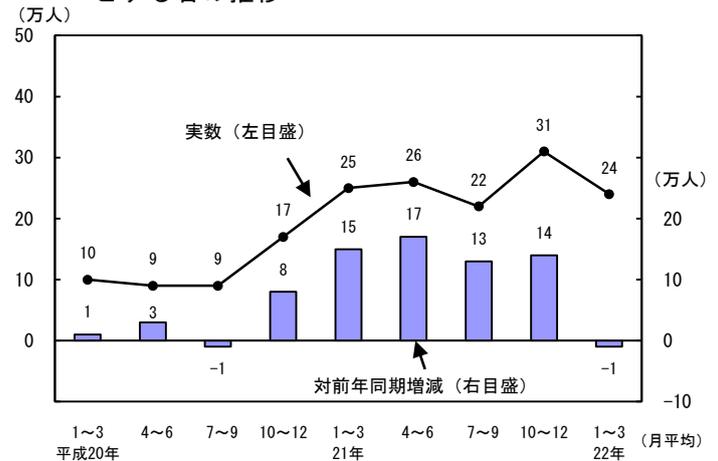
## 2 就業希望者

### (1) 求職活動をしていない理由<sup>注</sup>

- 「適当な仕事がありそうにない」とする者は168万人と、前年同期に比べ7万人の増加。このうち「今の景気や季節では仕事がありそうにない」とする者は24万人と、1万人の減少

注) 非求職理由を示す。

図9 「今の景気や季節では仕事がありそうにない」とする者の推移



### (2) 過去1年間に求職活動をしたことがある者

- 「適当な仕事がありそうにない」とする者(168万人)のうち「仕事があればすぐつける」とする者は73万人。このうち「調査期間中は求職活動をしていなかったが、過去1年間に求職活動をしたことがある」とする者は48万人と、前年同期に比べ9万人の増加

表4 非労働力人口における就業希望者の状況

		平成20年				21年				22年
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
非労働力人口		4455	4313	4372	4411	4464	4371	4394	4462	4497
うち 就業希望者	実数	461	464	450	442	469	461	483	473	459
うち 求職活動をしていなかったのは「適当な仕事がありそうにない」ためである者		149	151	148	149	161	163	163	164	168
うち 仕事があればすぐつくことができる者		52	59	53	54	67	67	67	66	73
うち 調査期間中は求職活動をしていなかったが、過去1年間に求職活動をしたことがある者	実数	32	37	36	36	39	43	44	43	48
	対前年同期増減	-8	3	2	3	7	6	8	7	9